



学校だより

鈴鹿市立加佐登小学校

電話 059-378-0063

FAX 共用 059-378-0006

校長 山中 喜宏

https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskasado/

加小っ子だより

令和5年6月30日 No.8

5月下旬の梅雨入りから約1か月たちましたが、まだまだ梅雨明けとはならず、むし暑いじめじめした天候が続いています。

ここ数年コロナ禍で中止していたプールの授業も6月12日から始まりました。梅雨の晴れ間にはプールに入ることができ、学年によっては小学校に入学して以来、初めてのプールの授業となりましたが、どの学年の児童も楽しく授業を受けています。



【子どもたちの作品から】

学校でのさまざまな教育活動を通して、子どもたちが日々成長している姿が見られ、嬉しい限りです。

杉の子特別支援学校の児童と居住地校交流

6月15日(木)に加佐登小学校の校区に住んでいて、杉の子特別支援学校に通学する5年生の児童と本校の5年生が居住地校交流を行いました。

ここ数年、コロナ禍のためオンラインの画面越しでの交流しかできませんでしたが、今年度は久しぶりに対面での交流が実現しました。子どもたちは、オンラインでしたが交流を続けていたため、よく覚えていて、すぐに打ち解けることができました。

校外宿泊学習の時の実行委員さんが再び、司会進行を務め、一緒にレクリエーションを行ったり、マイムマイムを踊ったり、「Belive」を合唱したりしました。最後は全員で見送りをしました。

みんながあたたかい気持ちで過ごせた時間となりました。今年度中にまた交流できるといいですね。



5年 田んぼの除草作業を体験しました

5年生が、4月27日の田植え体験に続いて、6月16日には田んぼの除草作業を体験しました。田んぼに入るのも2回目となり、子どもたちは土の中に入ることに抵抗がなく、作業を楽しんでいました。進んで何度も作業をしている児童も多かったです。何事も体験することが大事だと感じました。また、除草作業後のまとめでは、松組、竹組の田んぼの稲の色の状態を比較し、片方の稲の緑が少し薄いのは、雑草に栄養が奪われたためと教えていただきました。今回の除草作業で、雑草がなくなったので片方の稲も同じように育つと教わりました。

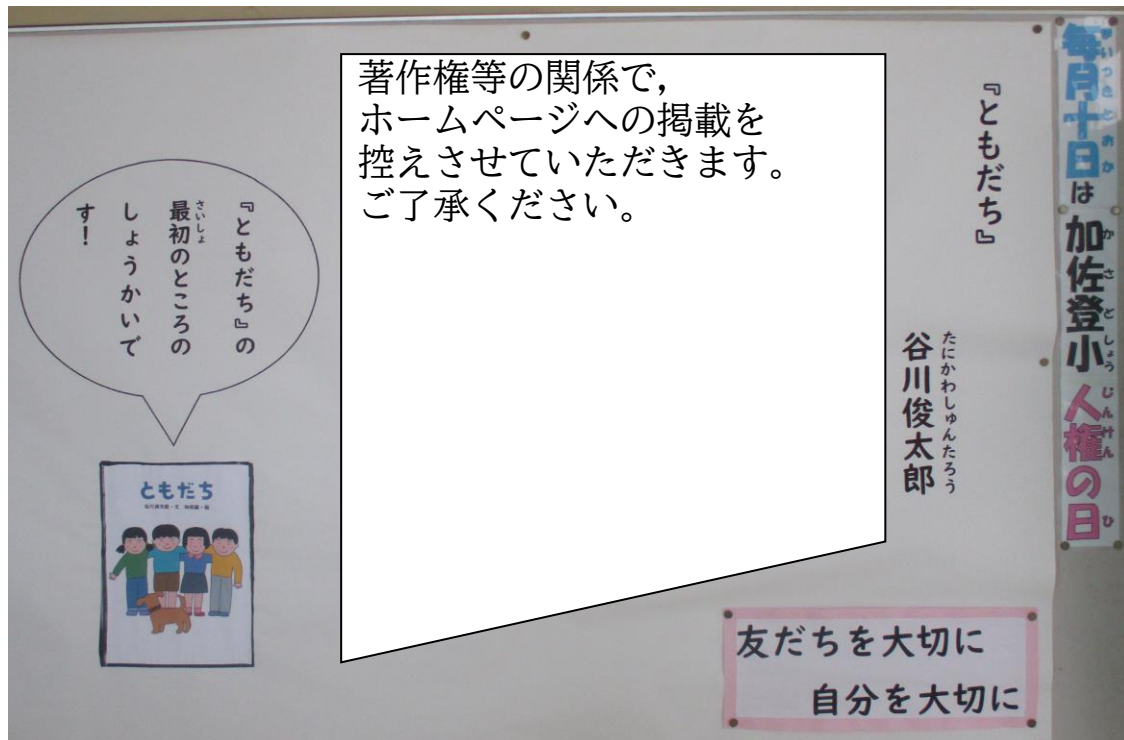
次回、5年生の児童が田んぼに行くのは9月下旬ごろで、いよいよ稲刈りです。子どもたちは2回しか作業をしていませんが、もちろん、それだけでは稲は育ちません。水の管理や施肥作業、数回の除草作業等、日々の作業の積み重ねで稲が生長していくのです。これらの作業をまちづくり協議会の皆さんに引き続きお世話をしていただきます。ありがとうございます。

また、子どもたちが描いた「田植え体験」ののぼり旗を田んぼに立ててもらうこととなりました。

夏休み中に田んぼの近くを通られる際には、ぜひお子様と一緒に、稲が生長している様子を観察してください。



6月の『加佐登小 人権の日』は12日でした



安心して過ごせる学校『今日が楽しく、明日が待たれる学校』を目指して、毎月10日を「人権の日」として、「お互いを尊重し、なかまも自分も大切にする」日とし取り組んでいます。6月は12日でした。友だちも自分も大切にするために安心して過ごせる学校をめざして、「自分からあいさつ・時間を守る・スリッパをそろえる・みんなでそうじ」を意識して行動していきましょう。

日々、自分の生活を振り返り、行動し、友だちも自分も大切にしていきたいと思います。

ごみはどうやって処理されるのかな？

6月20日(火)4年生の社会科の授業の一環で、鈴鹿市廃棄物対策課の方を講師にお招きして「出張ごみ博士」の授業がありました。

授業では、はじめに運動場でごみを運ぶパッカー車を見せていただいた後、ピンク袋で回収されるプラスチックごみをパッカー車に入れるところを見せていただきました。パッカー車にはごみを圧縮して奥から詰め込んでいく工夫がされていますが、圧縮する際、袋の空気が圧縮され「ポン」という破裂音が聞こえてくるところが印象的でした。

次に、理科室で講師の方から、各家庭から出されるごみの行方について説明を受けた後、ごみの出し方についてや不燃物リサイクルセンターについて、リデュース・リユース・リサイクルの3Rについて説明を受けました。

この授業で家庭から出されたごみの行方や正しいごみの出し方、3Rについて教えていただいたので、今後は教えていただいたことを活かして、できるだけごみを出さない生活を心がけていきたいですね。



学校運営協議会の方々に授業を参観していただきました

6月20日に第2回学校運営協議会を開催しました。その際に委員の方々に授業を参観していただき、学習内容や児童の様子を見ていただきました。

参観後の協議会では、つぎのようなご意見をいただきました。

- ・ 学年に応じた落ち着いた雰囲気で行われていた。
- ・ プールの授業が再開し、子どもたちが楽しそうに授業を受けていた。命を守る授業だと思うので、しっかりやっていただきたい。
プールの実施時期がちょうど梅雨の時期と重なっている。雨だと入れない学年も出てくるので、1学期終わりぎりぎりまでプールの授業をやってはどうか。
- ・ 外部の講師を招いての授業を見学した。体験や学校の先生以外の方に教えてもらうことで子どもの印象に残り、興味関心にもつながるのではないかと積極的に取り入れてほしい。
- ・ トイレのスリッパが整理されていてよい。照明は使っていないのであれば消灯したほうがよい。



今日の参観で学校の様子等を見て、いただいたご意見も参考にしながら、加佐登小の子どもたちをどのように育てていくかを学校・保護者・地域で共有し、学校運営協議会で熟議を重ねていきます。そして、それぞれの立場でできることを考え、工夫しながら行っていきます。

なお、学校運営協議会の仕組みや協議内容の詳細については、今後発行します「学校運営協議会だより」をご参照ください。

子どもたちへの読み聞かせありがとうございます

「加小っ子だより第5号」でもご紹介しましたが、毎週水曜日の朝、ボランティアの方々に読み聞かせを行っていただいています。

読書離れが言われるようになって久しいですが、子どもたちが本に触れる貴重な機会ととらえています。

各ご家庭におかれましても、次回ノーメディアデーの期間や夏休み等を利用しての子ども読書活動にご協力いただければ幸いです。



夏季休業中の8月14日(月)、15日(火)、16日(水)は学校閉校日です。

平日ですが教職員は不在となります。

緊急時は鈴鹿市教育委員会事務局学校教育課【TEL 059-382-7618】へお願いします。